

# もえるごみの戸別収集に関するアンケート調査結果

## 1 調査の目的

令和4年10月から「もえるごみの戸別収集モデル地区」となった厚木北地区、厚木南地区、依知南地区の中から無作為に3,000世帯を抽出し、戸別収集の感想を伺い、更なる検証を行うことを目的とします。

## 2 調査期間

令和5年6月1日～令和5年6月30日

## 3 調査対象とする戸別収集モデル地区

- (1)厚木北地区
- (2)厚木南地区
- (3)金田地区を除く依知南地区

## 4 調査対象者数

3,000世帯

(調査地域に在住する無作為に抽出した世帯主3,000人)

## 5 調査方法

郵送配布・郵送回収

## 6 回収結果

回答者数731 (24.4%)

## 7 結果の見方

(1)図表中の「n」は、各設問の回答者数です。

(2)集計は、小数点第二位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合があります。

8 アンケート配布数

地区	戸建て住宅	集合住宅 (マンション、 アパート、寮)	計
厚木北地区	117件 (7.4%)	1,465件 (92.6%)	1,582件
厚木南地区	135件 (16.0%)	710件 (84.0%)	845件
依知南地区	145件 (25.3%)	428件 (74.7%)	573件
合計	397件 (13.2%)	2,603件 (86.8%)	3,000件

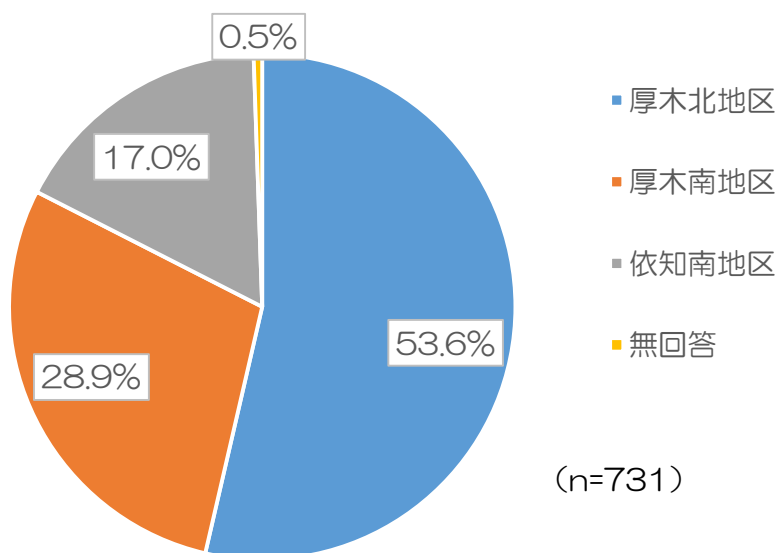
9 アンケート回収数

地区名	戸建て住宅	集合住宅 (マンション、 アパート、寮)	無回答	計
厚木北地区	72件 (18.4%)	318件 (81.1%)	2件 (0.5%)	392件
厚木南地区	63件 (29.9%)	147件 (69.7%)	1件 (0.5%)	211件
依知南地区	63件 (50.8%)	61件 (49.2%)	0件 (0.0%)	124件
無回答	0件 (0.0%)	2件 (50.0%)	2件 (50.0%)	4件
合計	198件 (27.1%)	528件 (72.2%)	5件 (0.7%)	731件

## 回答者の属性

### 1 居住地区

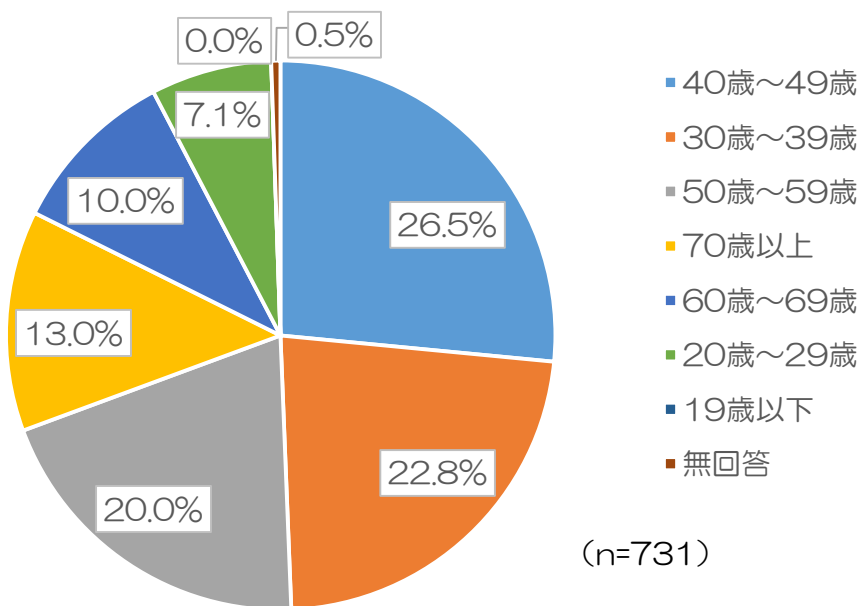
地区	回答者数
厚木北地区	392
厚木南地区	211
依知南地区	124
無回答	4
合計	731



回答者の居住地区は、厚木北地区が 53.6%、厚木南地区が 28.9%、依知南地区が 17.0%を占めています。

### 2 年齢

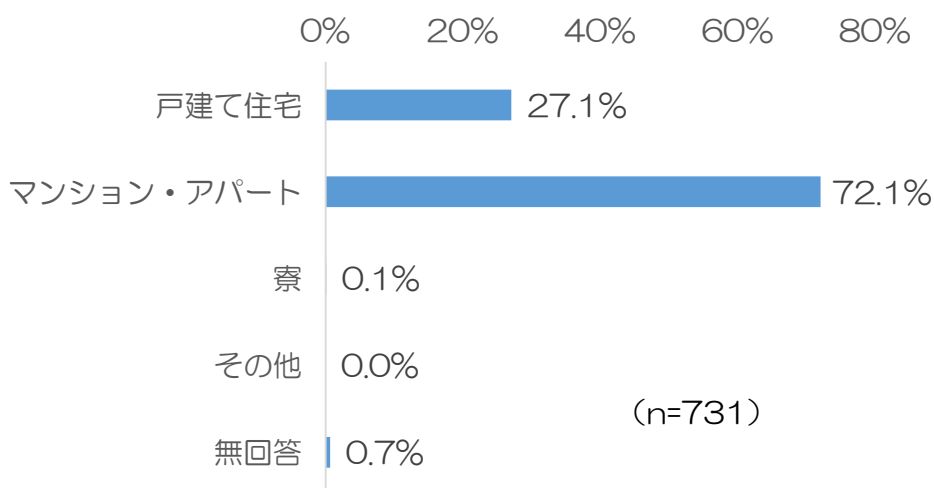
年代	回答者数
20~29歳	52
30~39歳	167
40~49歳	194
50~59歳	146
60~69歳	73
70歳以上	95
無回答	4
合計	731



回答者の年齢構成は、40歳~49歳が 26.5%を占め、次いで 30歳~39歳が 22.8%、50歳~59歳が 20.0%を占めています。

### 3 居住形態

居住形態	回答者数
戸建て住宅	198
集合住宅	528
無回答	5
合計	731

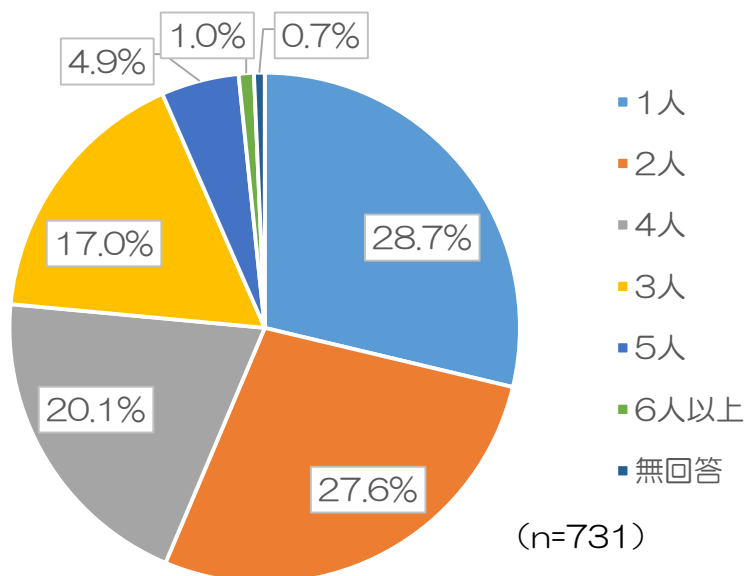


回答者の居住形態は、戸建て住宅が 27.1%、マンション・アパートが 72.1%、寮が 0.1%を占めています。

※検証・分析に当たり、マンション・アパートと寮を合わせて集合住宅として扱います。

### 4 世帯人数

世帯人数	回答者数
1人世帯	210
2人世帯	202
3人世帯	124
4人世帯	147
5人世帯	36
6人以上世帯	7
無回答	5
合計	731



回答者の世帯人数は、1人が 28.7%、2人が 27.6%、4人が 20.1%、3人が 17.0%、5人が 4.9%、6人以上が 1.0%を占めています。

## 5 属性別回答者数

### 地区別・住居別

	戸建て住宅	集合住宅	合計
厚木北地区	72	318	390
厚木南地区	63	147	210
依知南地区	63	61	124
合計	198	526	724

### 地区別・年代別

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
厚木北地区	30	88	105	83	38	47	391
厚木南地区	16	52	50	46	17	31	212
依知南地区	6	27	39	17	17	17	123
合計	52	167	194	146	72	95	726

### 地区別・世帯人数別

	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人以上世帯	合計
厚木北地区	106	131	69	74	9	2	391
厚木南地区	75	41	37	41	15	1	210
依知南地区	29	29	18	32	12	4	124
合計	210	201	124	147	36	7	725

### 住居別・年代別

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
戸建て住宅	3	45	68	34	22	25	197
集合住宅	49	122	125	111	51	69	527
合計	52	167	193	145	73	94	724

### 住居別・世帯人数別

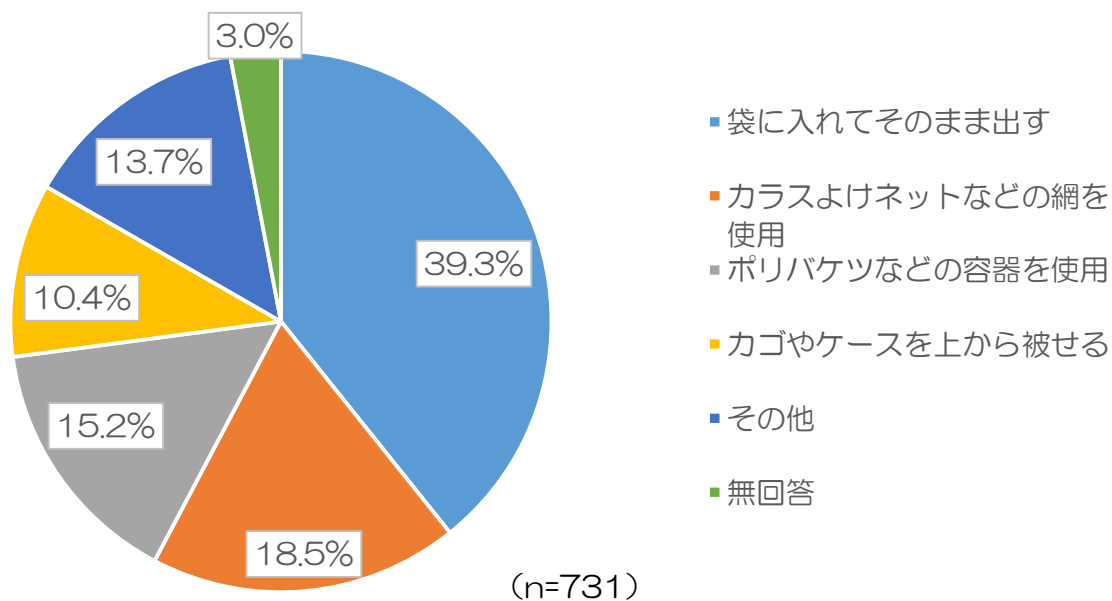
	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人以上世帯	合計
戸建て住宅	7	32	42	83	26	5	195
集合住宅	203	167	82	64	10	2	528
合計	210	199	124	147	36	7	723

### 年代別・世帯人数別

	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人以上世帯	合計
20～29歳	36	11	2	3	0	0	52
30～39歳	42	26	32	55	9	3	167
40～49歳	39	37	38	63	13	3	193
50～59歳	43	46	30	18	8	1	146
60～69歳	19	43	7	3	0	0	72
70歳以上	30	40	14	5	6	0	95
合計	209	203	123	147	36	7	725

問1 「もえるごみ」をどの方法で出していますか。(1つだけ選んでください)

- |  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ポリバケツなどの容器を使用   | <input type="checkbox"/> 袋に入れてそのまま出す |
| <input type="checkbox"/> カラスよけネットなどの網を使用 | <input type="checkbox"/> その他         |
| <input type="checkbox"/> カゴやケースを上から被せる   |                                      |



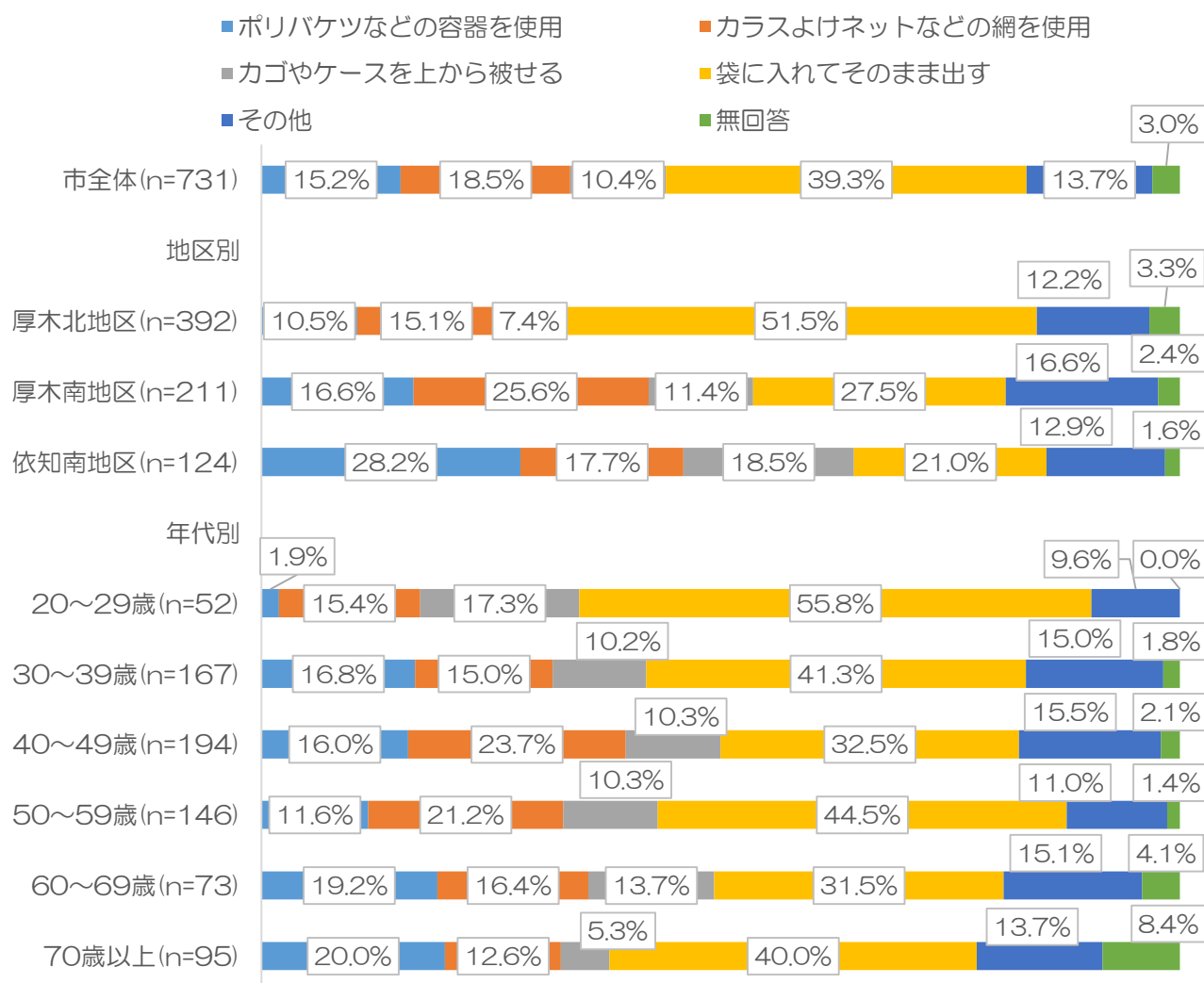
【全体】

もえるごみの出し方については、『袋に入れてそのまま出す』(39.3%)が4割近くを占め、次いで『カラスよけネットなどの網を使用』(18.5%)、『ポリバケツなどの容器を使用』(15.2%)となっています。回答者の居住形態は集合住宅(72.2%)の割合が高く、集合住宅では集積所で収集しているため、『袋に入れてそのまま出す』が多い結果になったと考えられます。

## 問1【地区別・年代別】

地区別で見ると、厚木北地区では『袋に入れてそのまま出す』(51.5%)が5割を超えています。厚木南地区では、『カラスよけネットなどの網を使用』(25.6%)する割合が高くなっています。依知南地区では『ポリバケツなどの容器を使用』(28.2%)している割合が最も高くなっており、ごみの出し方に地域性が見られます。

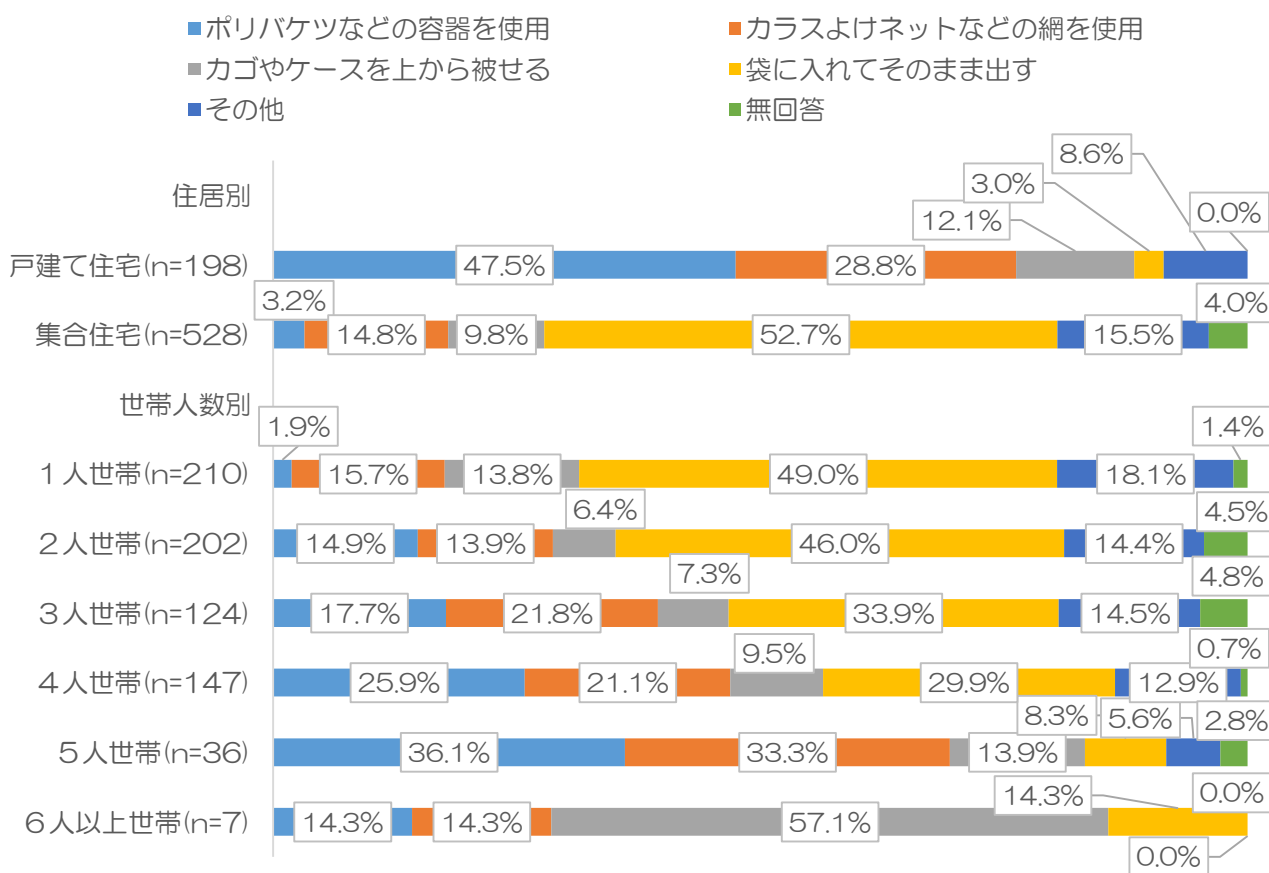
年代別では、どの年代でも『袋に入れてそのまま出す』が最も高い割合となっています。また、『カラスよけネットなどの網を使用』している割合が40～49歳(23.7%)、50～59歳(21.2%)で2割を超え、70歳以上では『ポリバケツなどの容器を使用』(20.0%)している割合が高くなっています。



### 問1【住居別・世帯人数別】

住居別で見ると、戸建て住宅では『ポリバケツなどの容器を使用』（47.5%）している割合が高く、『カラスよけネットなどの網を使用』（28.8%）している割合を合わせると76.3%に達しています。集合住宅では『袋に入れてそのまま出す』（52.7%）割合が高いため、居住形態によって「もえるごみ」の出し方に違いがあることがわかります。

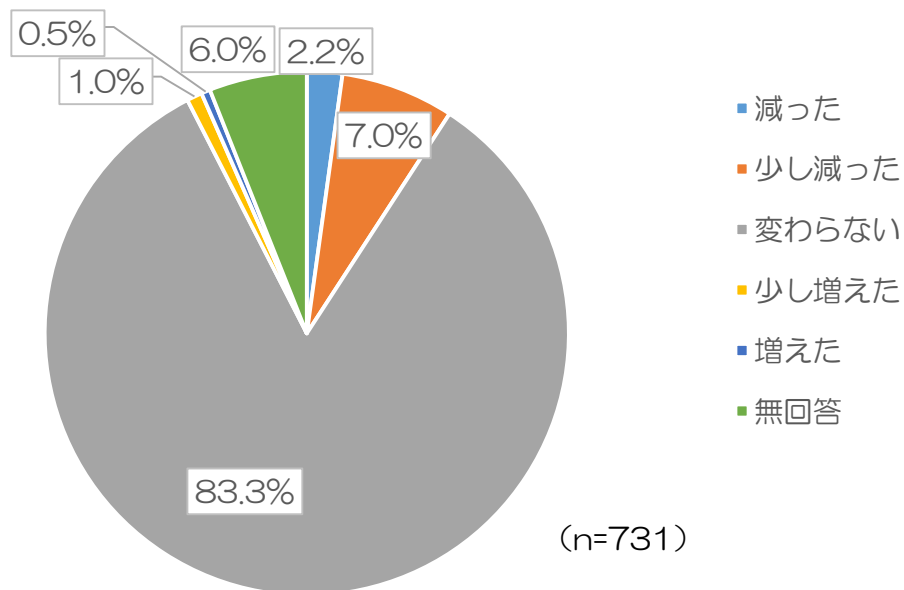
世帯人数別では、1人世帯、2人世帯では『袋に入れてそのまま出す』は、ともに4割を超えています。3人世帯では3割、4人世帯では3割を下回り、『ポリバケツなどの容器を使用』や『カラスよけネットなどの網を使用』している割合が高くなっています。世帯人数が増えるにつれ、「もえるごみ」の出し方が変わっていくことがわかります。





問2 戸別収集になって「もえるごみ」を出す量に変化はありましたか。(1つだけ選んでください)

- |                                |                                |
|--------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 減った   | <input type="checkbox"/> 少し増えた |
| <input type="checkbox"/> 少し減った | <input type="checkbox"/> 増えた   |
| <input type="checkbox"/> 変わらない |                                |



【全体】

「もえるごみ」を出す量の変化については、全体では『変わらない』(83.3%)が8割を超えていますが、アンケートの回答者は集合住宅居住者が多いことから、戸別収集モデル地区となっても、もえるごみの排出方法に変化がなかったことが反映していると考えられます。

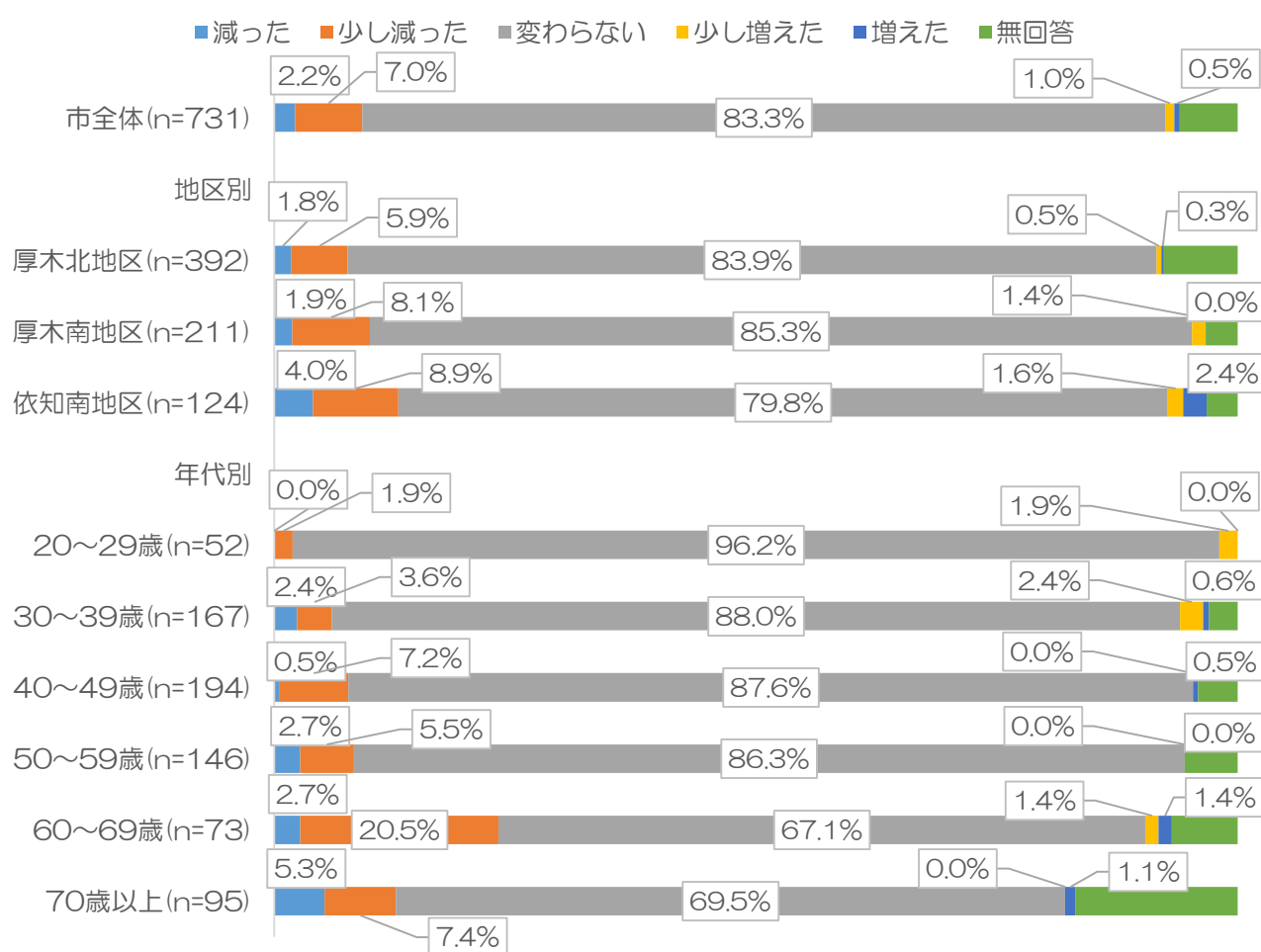
しかし、『減った』と『少し減った』の2つを合わせた『減った』が9.2%、『増えた』と『少し増えた』の2つを合わせた『増えた』が1.5%と、『減った』と感じている世帯が、『増えた』と感じている世帯の約6倍となっています。

## 問2【地区別・年代別】

地区別で見ると、厚木北地区では『減った』(1.8%)と『少し減った』(5.9%)の2つを合わせた『減った』が7.7%、厚木南地区では『減った』(1.9%)と『少し減った』(8.1%)の2つを合わせた『減った』が10.0%、依知南地区では『減った』(4.0%)と『少し減った』(8.9%)の2つを合わせた『減った』が12.9%となっており、厚木北地区と厚木南地区に比べて高いことから、依知南地区では戸別収集によってもえるごみが減っている可能性があります。

また、『増えた』と『少し増えた』の2つを合わせた『増えた』は、厚木北地区では0.8%、厚木南地区では1.4%、依知南地区では4.0%となっており、『増えた』と感じている割合も依知南地区では他の地区に比べ高くなっています。

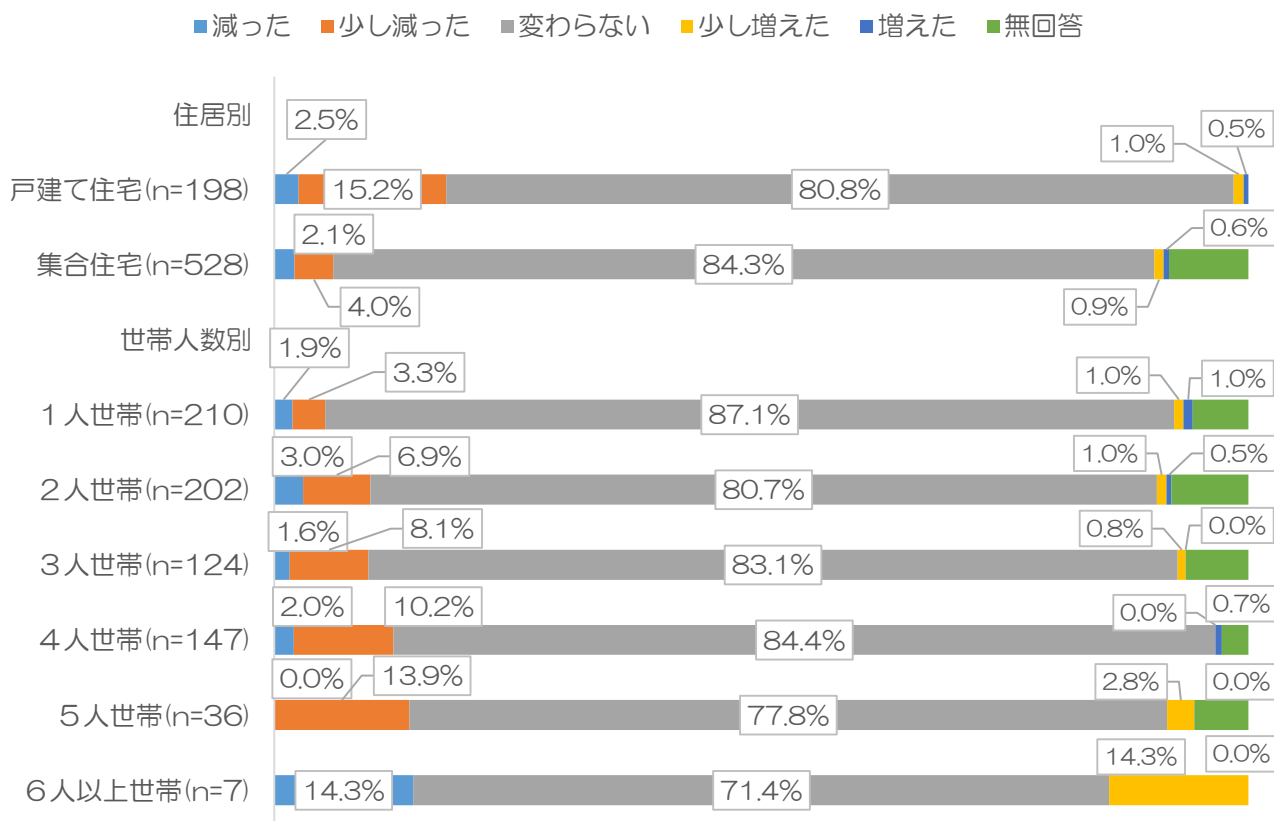
年代別では、60~69歳で『少し減った』(20.5%)と答えている割合が2割を超えており、『減った』と合わせて23.3%になっています。問3-1で60~69歳は『ごみの分別を意識するようになったから』が高いこととの関連性が考えられます。



## 問2【住居別・世帯人数別】

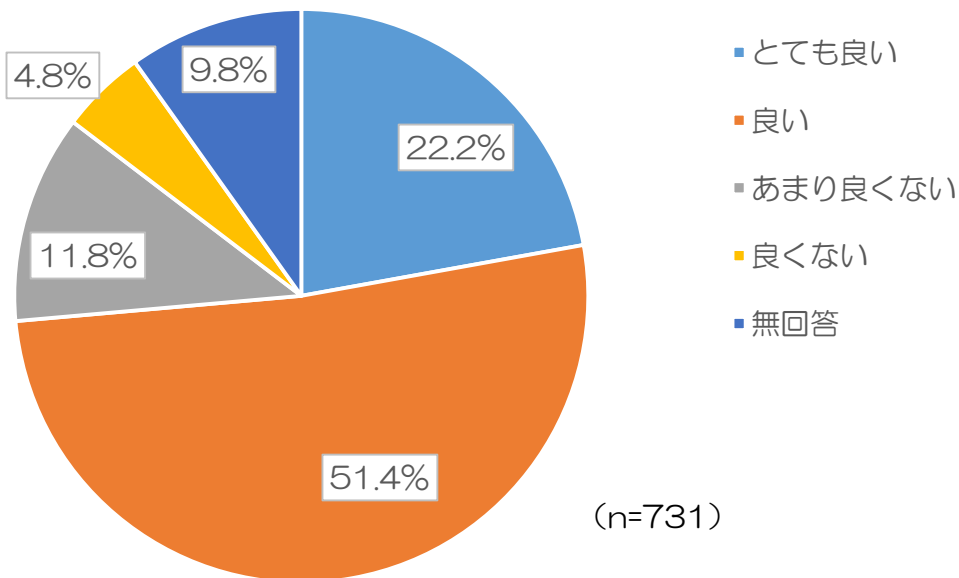
住居別で見ると、戸建て住宅では『減った』(2.5%)と『少し減った』(15.2%)の2つを合わせた『減った』が17.7%、集合住宅では『減った』(2.1%)と『少し減った』(4.0%)の2つを合わせた『減った』が6.1%となっており、収集方法が戸別収集に変わった戸建て住宅では『減った』と感じている割合が高くなっています。

世帯人数別では、5人世帯で『少し減った』(13.9%)割合が高く、またどの世帯においても『減った』と『少し減った』を合わせた割合が、『少し増えた』と『増えた』を合わせた割合を上回っています。



問3 戸別収集についてどのようにお考えですか。(1つだけ選んでください)

- とても良い
- 良い
- あまり良くない
- 良くない



【全体】

『とても良い』(22.2%)、『良い』(51.4%)の2つを合わせた『良い』が73.6%、『良くない』(4.8%)、『あまり良くない』の(11.8%)の2つを合わせた『良くない』が16.6%となっており、7割を超える方が戸別収集を『良い』と評価している結果となっています。

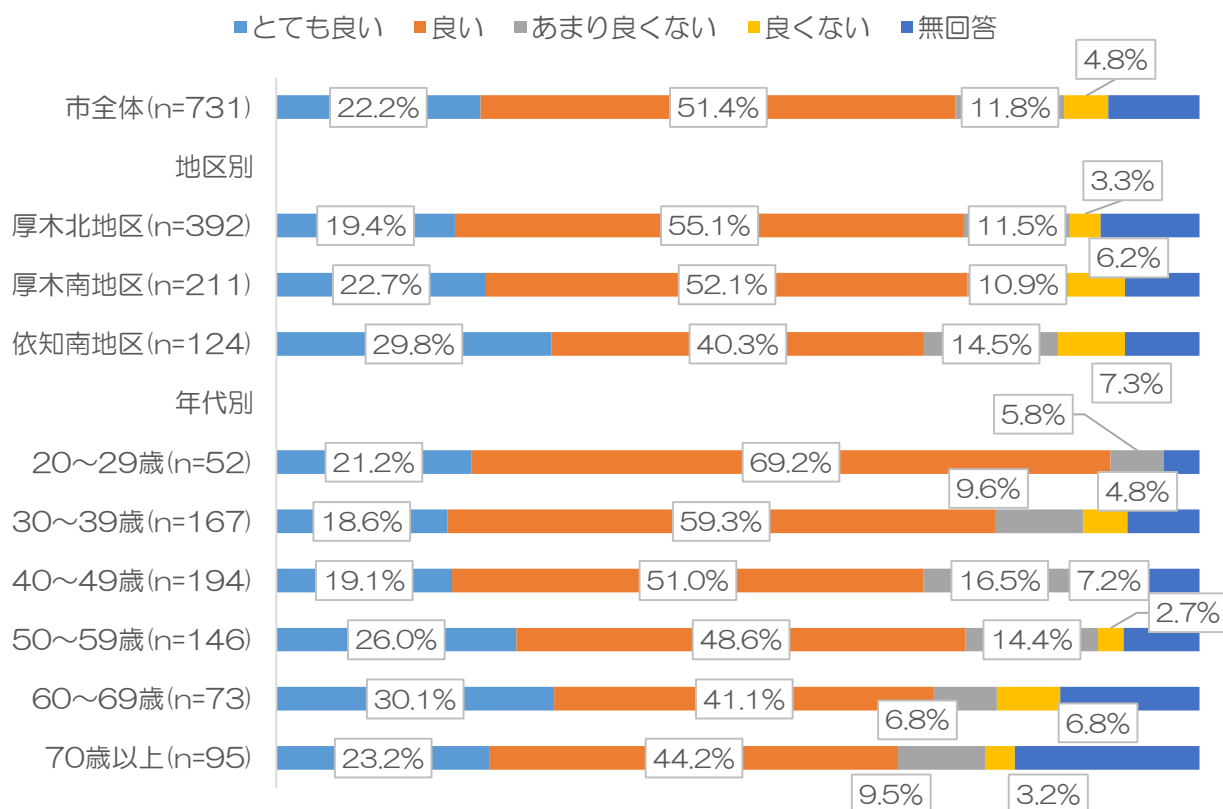
### 問3【地区別・年代別】

地区別で見ると、依知南地区では『とても良い』（29.8%）が、厚木北地区（19.4%）、厚木南地区（22.7%）に比べ高くなっています。依知南地区は他の2地区に比べ、戸建て住宅が多いことや集積所が自宅から離れていたため、利便性が向上した世帯が多いことが考えられます。ただし、『とても良い』、『良い』の2つを合わせた『良い』では厚木南地区が74.8%と、厚木北地区（74.5%）、依知南地区（70.1%）に比べ高くなっています。いずれの地区でも7割を超える方が戸別収集を『良い』と評価しています。

なお、『良くない』、『あまり良くない』の2つを合わせた『良くない』が最も高い地区は、依知南地区で21.8%となっています。

理由としては、問3-2の『カラス等の被害が増えたから』、『個人情報漏洩の不安が増えたから』、『ポリバケツ等購入による費用負担が増えたから』のほか、元々集積所が近かったため戸別収集に変わったためにメリットを感じない世帯などもあることが考えられます。

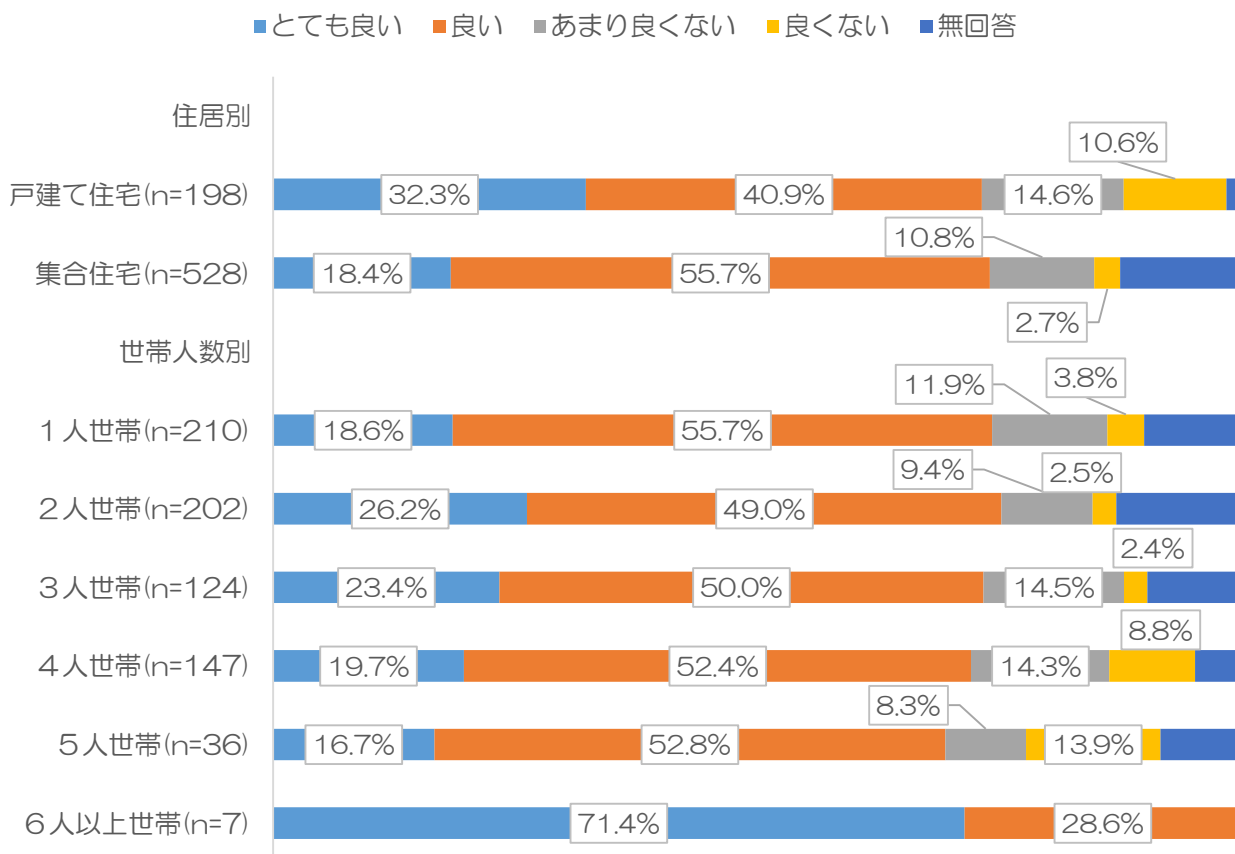
年代別では、20～29歳で『とても良い』（21.2%）、『良い』（69.2%）の2つを合わせた『良い』が90.4%と9割を超えて最も高く、次の30～39歳と比べ12.5ポイント高くなっています。



### 問3【住居別・世帯人数別】

住居別で見ると、戸建て住宅で『とても良い』が(32.3%)と、集合住宅(18.4%)に比べ13.9ポイント高くなっています。収集方法が戸別収集に変わった戸建て住宅では『とても良い』と感じている割合が高くなっています。なお、『とても良い』、『良い』の2つを合わせた『良い』では、集合住宅(74.1%)が戸建て住宅(73.2%)ではほとんど違いがありません。収集方法が戸別収集に変わった戸建て住宅では『とても良い』との実感が高いと考えられます。

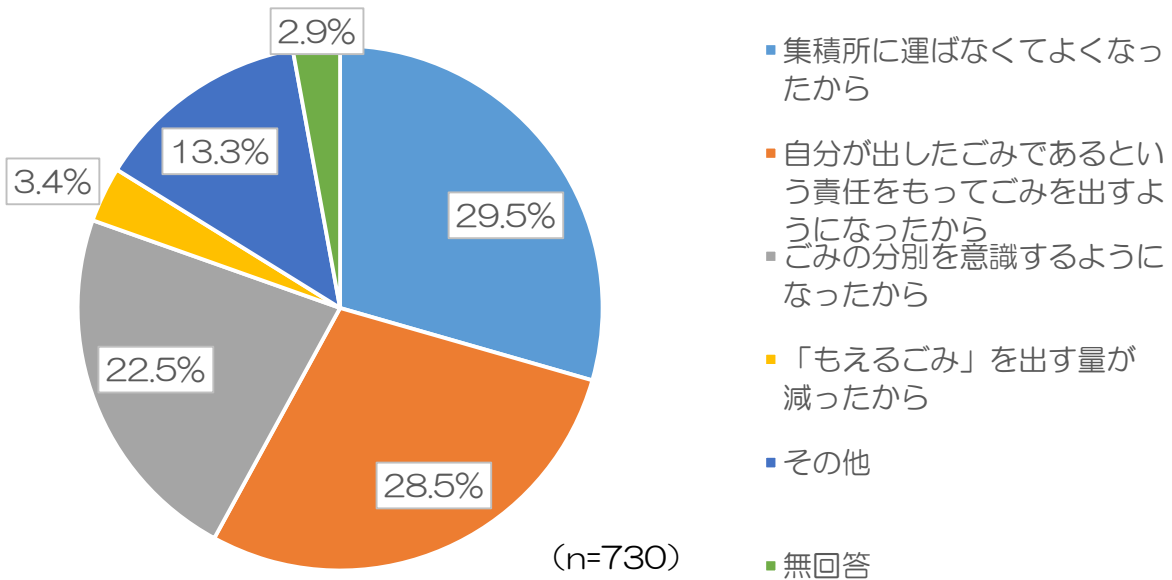
世帯人数別では、2人世帯で『とても良い』(26.2%)の割合が高く、『良い』(49.0%)を合わせて75.2%となっています。また、6人以上世帯では『とても良い』と『良い』を合わせて100%となっており、どの世帯人数でも戸別収集の評価が高いと言えます。



【問3で「とても良い・良い」とお答えの方にお聴きします。】

問3-1 戸別収集になって良かったことは何ですか。(2つまで選んでください)

- 「もえるごみ」を出す量が減ったから
- ごみの分別を意識するようになったから
- 集積所に運ばなくてよくなったから
- 自分が出したごみであるという責任をもってごみを出すようになったから
- その他



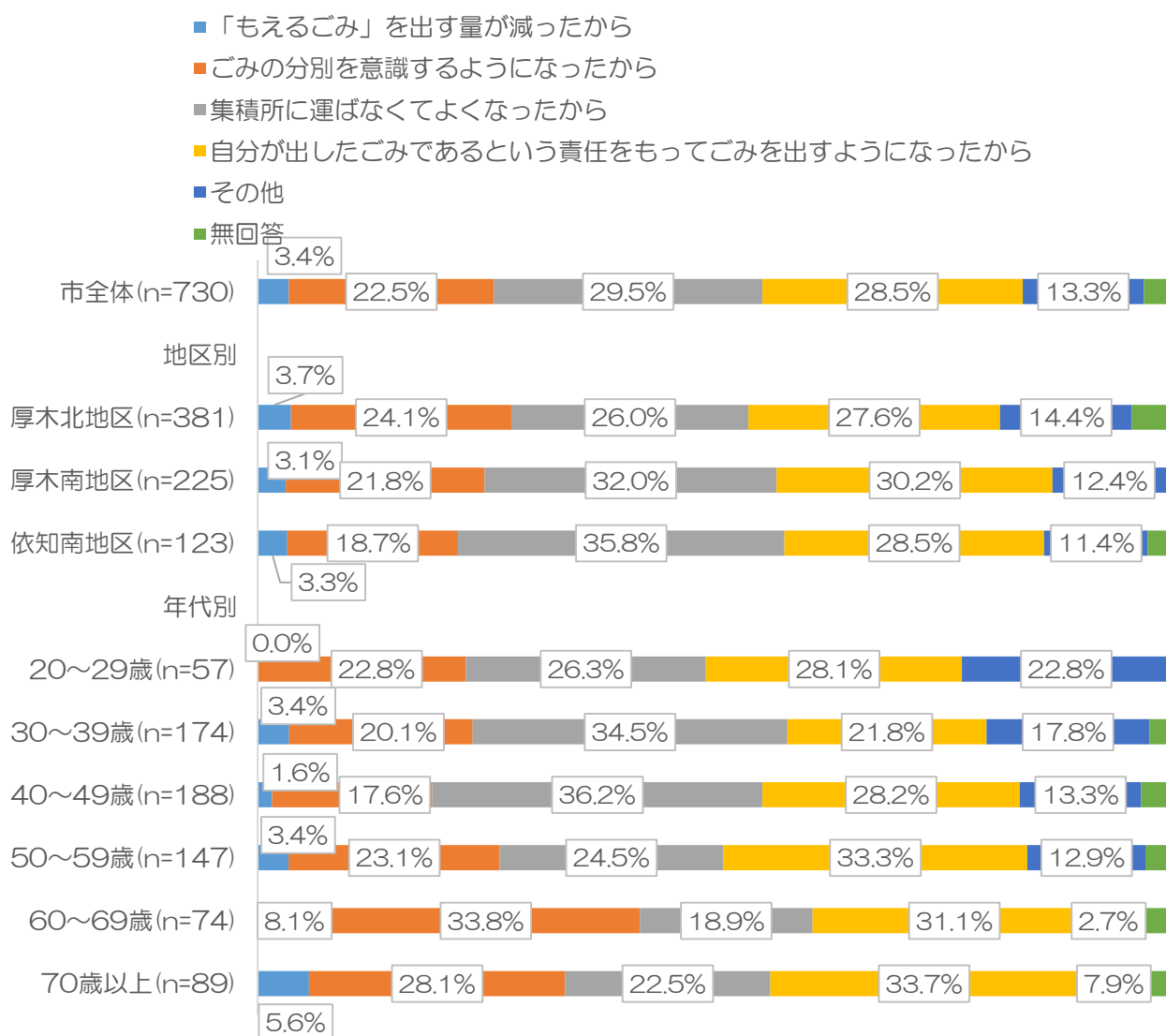
【全体】

戸別収集について「とても良い・良い」と回答した方のうち、戸別収集になって良かったことについて『集積所に運ばなくてよくなったから』(29.5%)の割合が最も高く、次いで『自分が出したごみであるという責任をもってごみを出すようになったから』(28.5%)、『ごみの分別を意識するようになったから』(22.5%)の順となっています。ごみ出しの負担軽減、自宅(家)の敷地内に排出することに対する排出者責任の意識向上、ごみの分別の意識向上が進んだと考えられます。

### 問3-1【地区別・年代別】

地区別で見ると、どの地区においても『集積所に運ばなくてよくなったから』の割合が最も高くなっており、特に、依知南地区（35.8%）では、厚木北地区（25.8%）、厚木南地区（32.0%）に比べ高くなっています。『集積所に運ばなくてよくなったから』、『自分が出したごみであるという責任をもってごみを出すようになったから』、『ごみの分別を意識するようになったから』の3つでどの地区においても8割前後を占めています。

年代別では、『集積所に運ばなくてよくなったから』が30～39歳（34.5%）、40～49歳（36.2%）で3割を超えています。また、『自分が出したごみであるという責任をもってごみを出すようになったから』が、50～59歳（33.3%）、60～69歳（31.1%）、70歳以上（33.7%）で3割を超えています。60～69歳では、『ごみの分別を意識するようになったから』も（33.8%）3割を超えています。

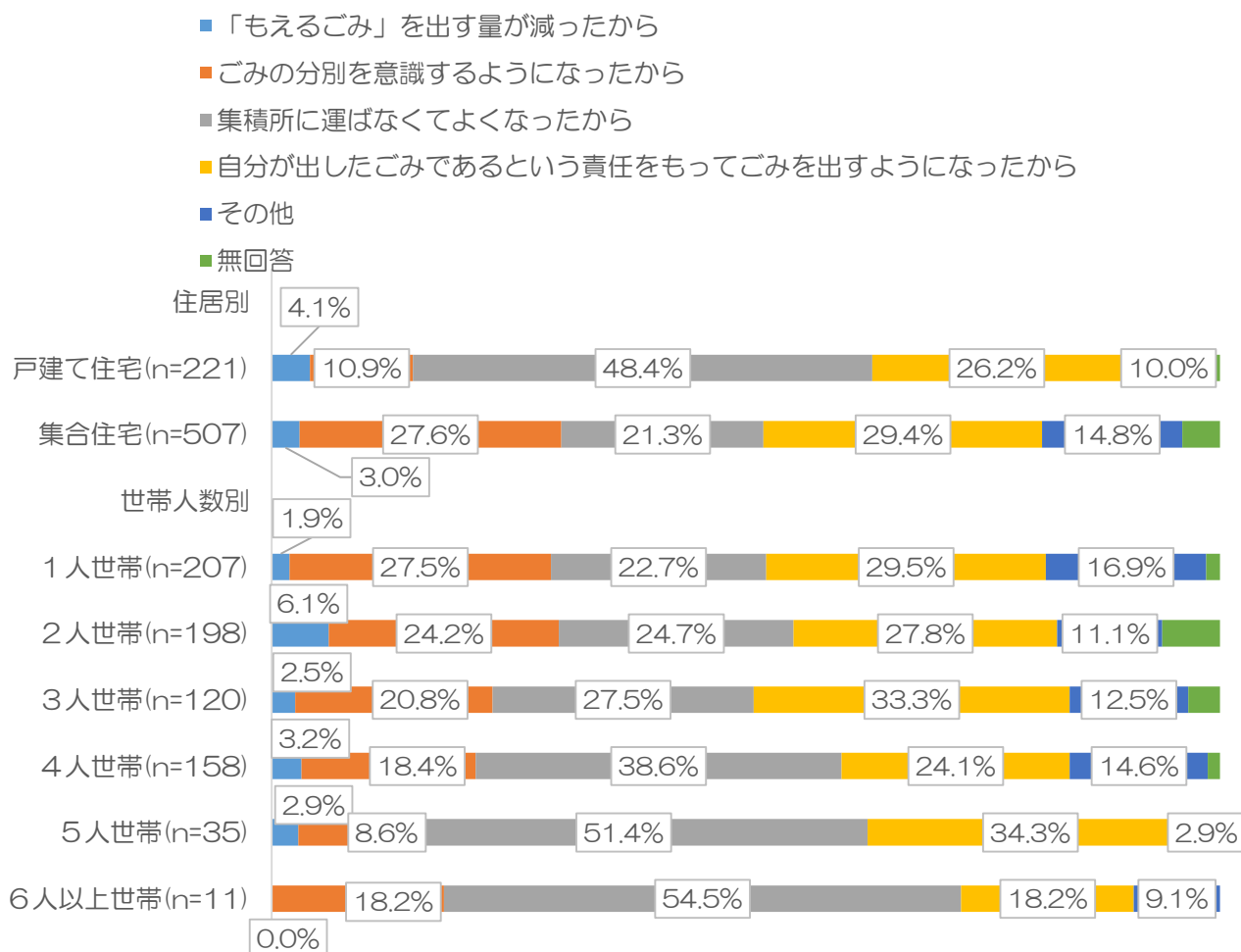




### 問 3-1 【住居別・世帯人数別】

住居別で見ると、『集積所に運ばなくてよくなったから』が、戸建て住宅（48.4%）で5割近くに達し、集合住宅（21.2%）に比べ2倍以上ポイントが高くなっています。戸別収集によってごみ出しの負担軽減を実感している方が多いと考えられます。

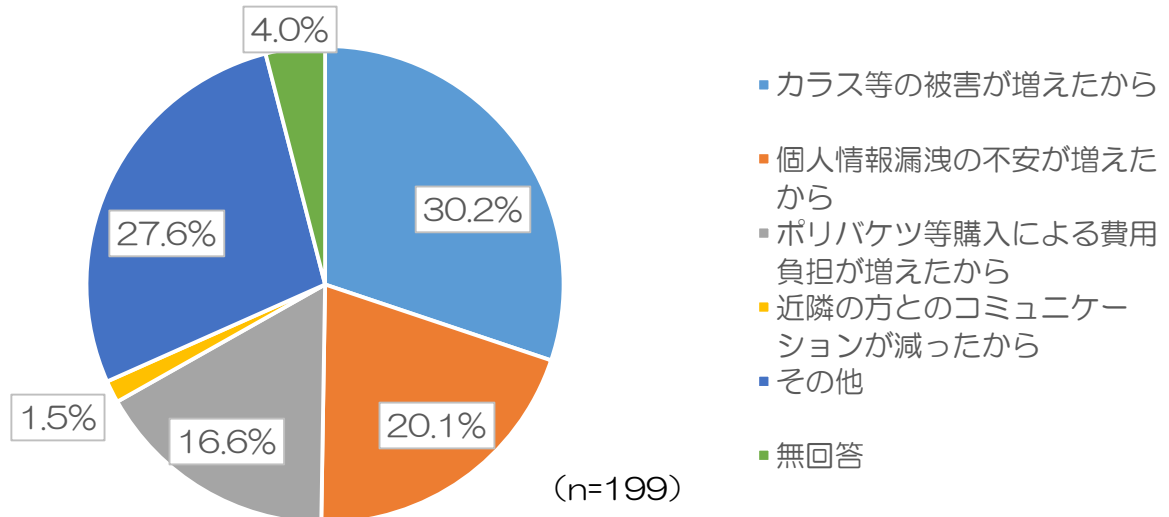
世帯人数別では、『集積所に運ばなくてよくなったから』が5人世帯（51.4%）及び6人以上世帯（54.5%）で5割を超えており、世帯人数の多い世帯において戸別収集による利便性の向上を感じていると考えられます。



【問3で「あまり良くない・良くない」とお答えの方にお聴きします。】

問3-2 戸別収集になって良くないと思う理由を教えてください。(あてはまるものをすべて選んでください)

- |  |                              |
|--|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 近隣の方とのコミュニケーションが減ったから | <input type="checkbox"/> その他 |
| <input type="checkbox"/> 個人情報漏洩の不安が増えたから       |                              |
| <input type="checkbox"/> ポリバケツ等購入による費用負担が増えたから |                              |
| <input type="checkbox"/> カラス等の被害が増えたから         |                              |



【全体】

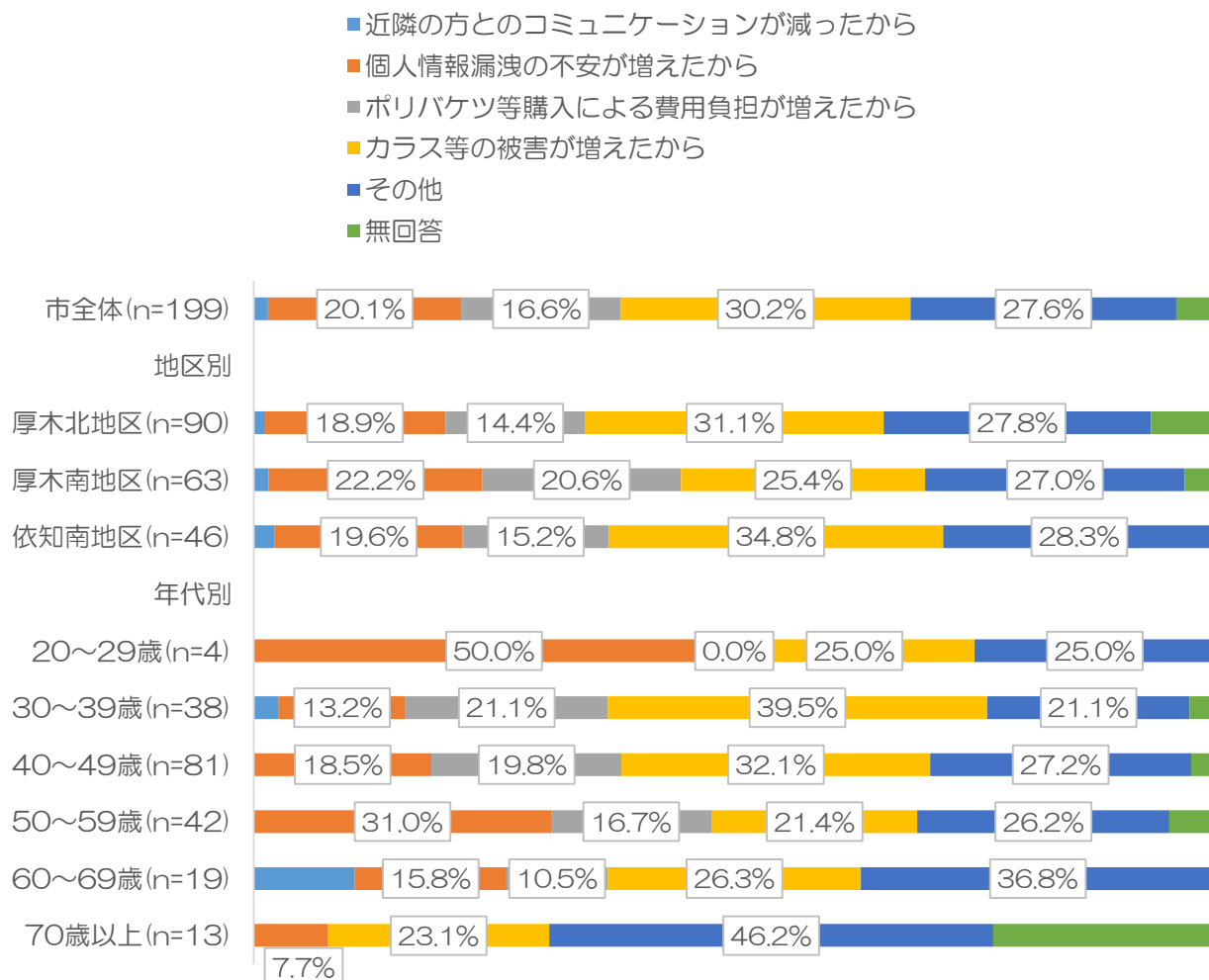
戸別収集について、「あまり良くない・良くない」と答えた方の良くないと思う理由は、『カラス等の被害が増えたから』(30.2%)の割合が最も高く、次いで『個人情報漏洩の不安が増えたから』(20.1%)、『ポリバケツ等購入による費用負担が増えたから』(16.6%)の順となっています。

集積所から敷地内にもえるごみを排出することによって変わったことにより、カラス等の被害を受けた際の後片付けや、戸別収集開始時の費用の負担について不満があるとの結果になっています。

### 問3-2【地区別・年代別】

地区別で見ると、どの地区においても割合の高い順に『カラス等の被害が増えたから』、『個人情報漏洩の不安が増えたから』、『ポリバケツ等購入による費用負担が増えたから』となっています。『カラス等の被害が増えたから』は、厚木北地区（30.4%）と依知南地区（34.8%）で3割を超えており、カラス等による被害への不満や心配を持たれている方が多いことがうかがえます。

年代別では、『カラス等の被害が増えたから』が30～39歳（39.5%）、40～49歳（32.1%）で3割を超え、50～59歳では『個人情報漏洩の不安が増えたから』が31.0%を占めています。

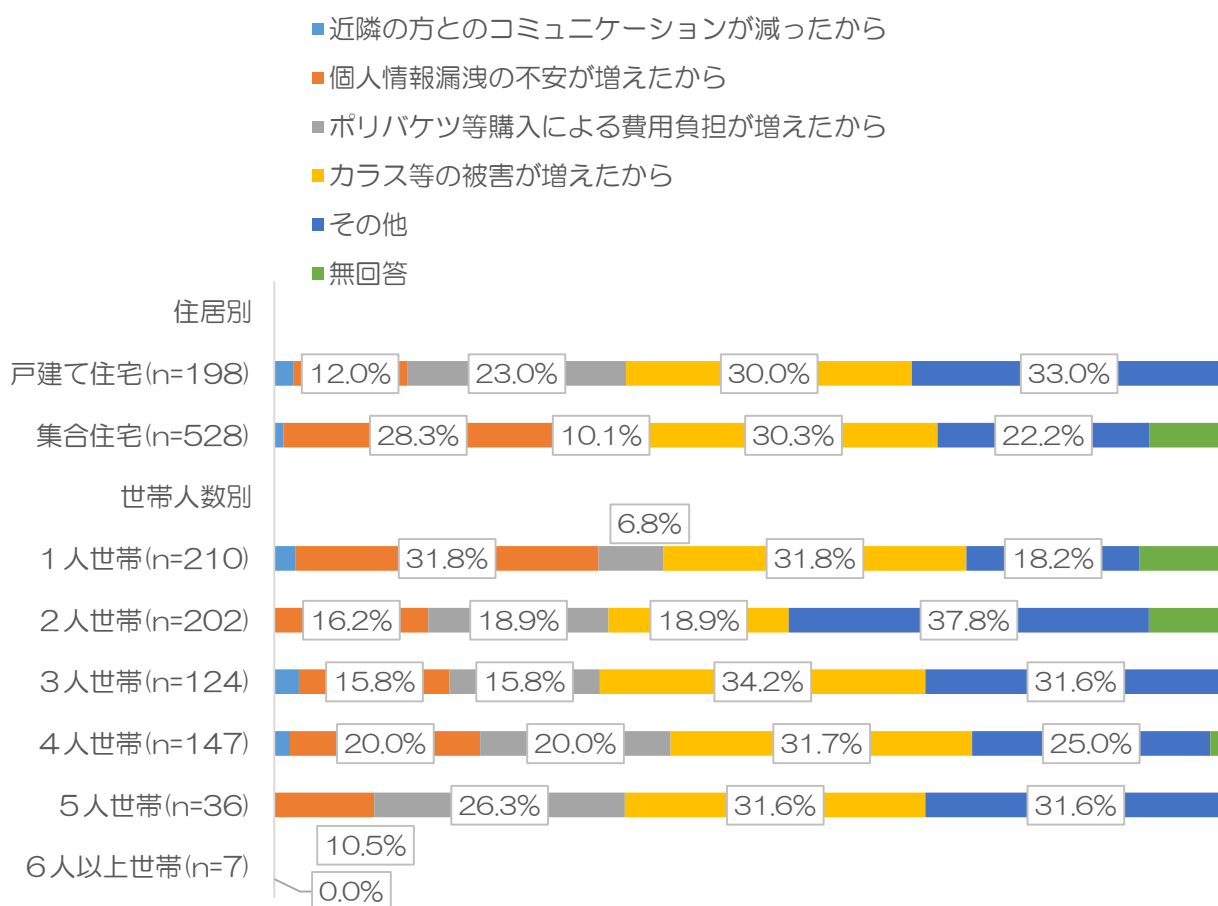


### 問3-2【住居別・世帯人数別】

住居別で見ると、『カラス等の被害が増えたから』は、戸建て住宅(30.0%)と集合住宅(30.3%)ではほとんど違いはありませんが、戸建て住宅では『ポリバケツ等購入による費用負担が増えたから』(23.0%)が2番目に高く、戸別収集開始時の費用負担への不満が高くなっていると考えられます。

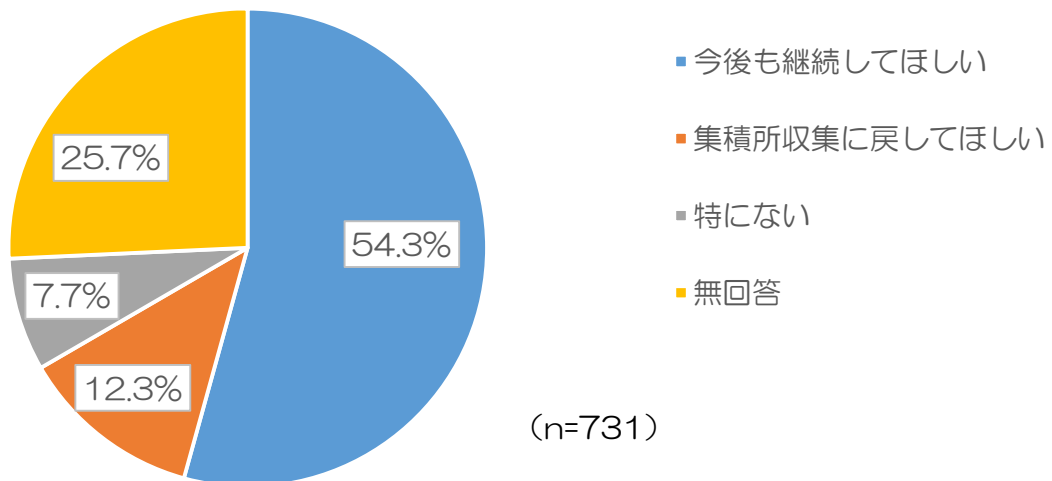
集合住宅では『個人情報漏洩の不安が増えたから』(28.3%)が2番目に高くなっています。戸建て住宅では敷地内にもえるごみを排出するため、戸別収集開始時の費用負担への不満が高くなっています。集合住宅では集積所収集のためポリバケツ等の購入による費用負担はありませんが、戸別収集に変わった場合に個人情報漏洩の不安を挙げている方が多いと考えられます。

世帯人数別では、『カラス等の被害が増えたから』が、1人世帯(31.8%)、3人世帯(34.2%)、4人世帯(31.7%)及び5人世帯(31.6%)で3割を超えており、世帯人数に関係なくカラス等の被害に悩まされている実態が浮かび上がります。また、『個人情報漏洩の不安が増えたから』が1人世帯で(31.8%)3割を超えており、1人での生活に普段から気を配っていることが伺えます。



問4 今後の戸別収集についてどのようにお考えですか。(1つだけ選んでください)

- 今後も継続してほしい
- 集積所収集に戻してほしい
- 特にない



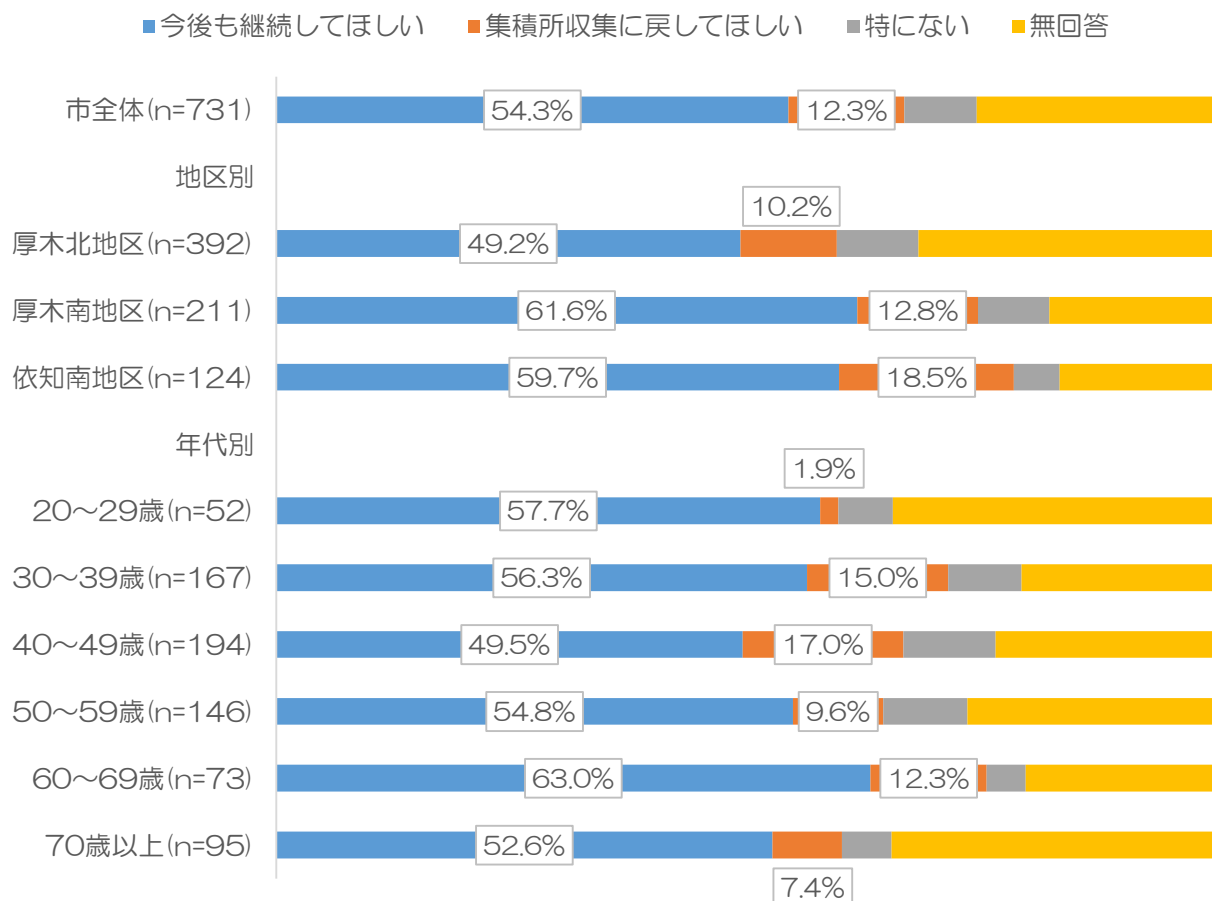
【全体】

『今後も継続してほしい』(54.3%)が5割を超え、『集積所収集に戻してほしい』(12.3%)と比べ42ポイント高くなっています。戸別収集に対する評価が高いことがわかります。

#### 問4【地区別・年代別】

地区別で見ると、いずれの地区においても、『今後も継続してほしい』の割合が最も高く、特に厚木南地区（61.6%）では6割超、依知南地区はほぼ6割となっています。厚木南地区、依知南地区では戸別収集に対する評価が高いことがわかります。なお、依知南地区では、『集積所収集に戻してほしい』（19.7%）が2割近を占めています。

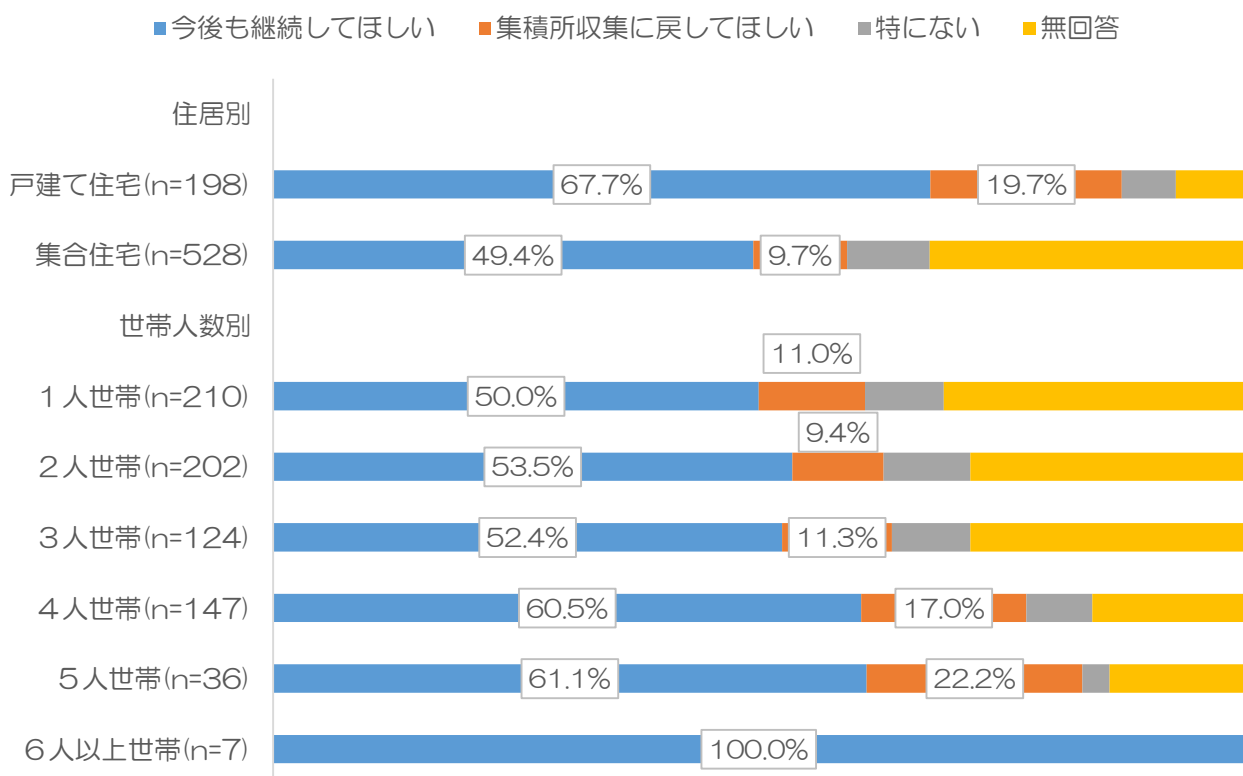
年代別では、『今後も継続してほしい』が40～49歳（49.5%）を除き5割を超え、60～69歳（63.0%）では6割を超えています。『集積所収集に戻してほしい』は、どの年代においても2割を下回っています。年代別でも戸別収集に対する評価が高くなっています。



#### 問4【住居別・世帯人数別】

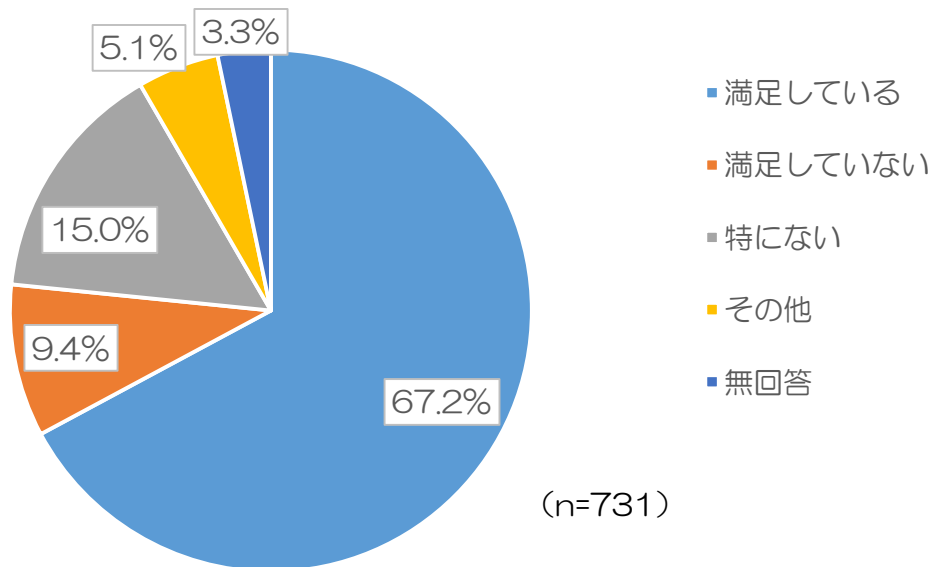
住居別で見ると、戸建て住宅では『今後も継続してほしい』(67.7%)が7割近くを占め、『集積所収集に戻してほしい』(19.7%)は2割程度となっています。集合住宅では、『今後も継続してほしい』(49.4%)がおよそ5割になっていて、特に戸建て住宅にお住まいの方から、戸別収集を継続してほしいとの希望が高くなっています。

世帯人数別では、世帯人数が増えるに連れ、『今後も継続してほしい』割合が、上昇する傾向が見られます。1人世帯(50.0%)2人世帯(53.5%)、3人世帯(52.4%)では5割台ですが、4人世帯(60.5%)及び5人世帯(61.1%)で6割を超えています。問3の『とても良い』、『良い』を合わせた『良い』、問3-1の『集積所に運ばなくてよかったから』の割合が高いこととの関連性があると考えられます。



問5 現在の資源とごみの収集体制に満足していますか。(資源等週1回、もえるごみ週2回)  
(1つだけ選んでください)

- 満足している
- 満足していない
- 特にない
- その他



【全体】

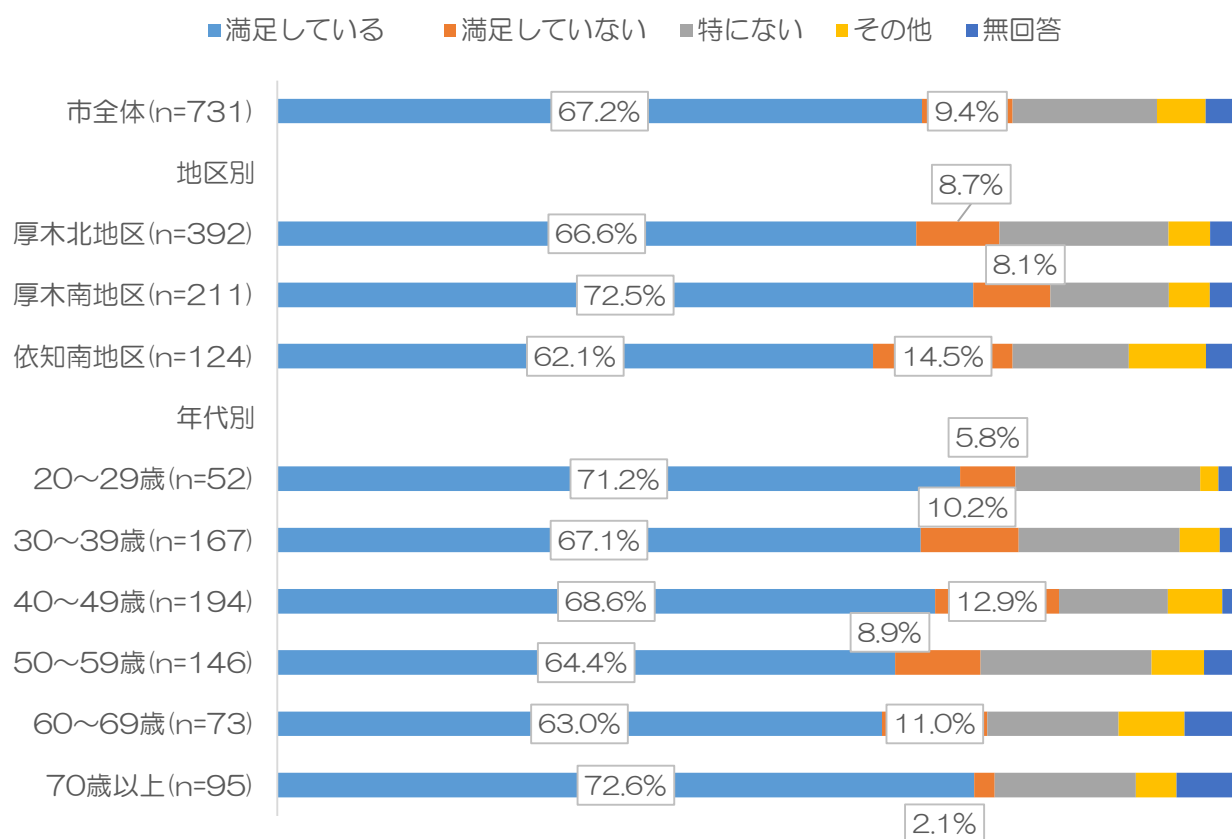
『満足している』が67.2%、『満足していない』が9.4%を占めました。現在の収集体制（資源等週1回、もえるごみ週2回）に比較的満足している方が多い結果となっています。



## 問5【地区別・年代別】

地区別で見ると、厚木南地区では『満足している』（72.5%）が7割を超えており、厚木北地区（66.6%）、依知南地区（62.1%）でも6割を超えています。『満足していない』は、厚木北地区（8.7%）、厚木南地区（8.1%）では、1割を下回っていますが、依知南地区（14.5%）では1割を超えています。

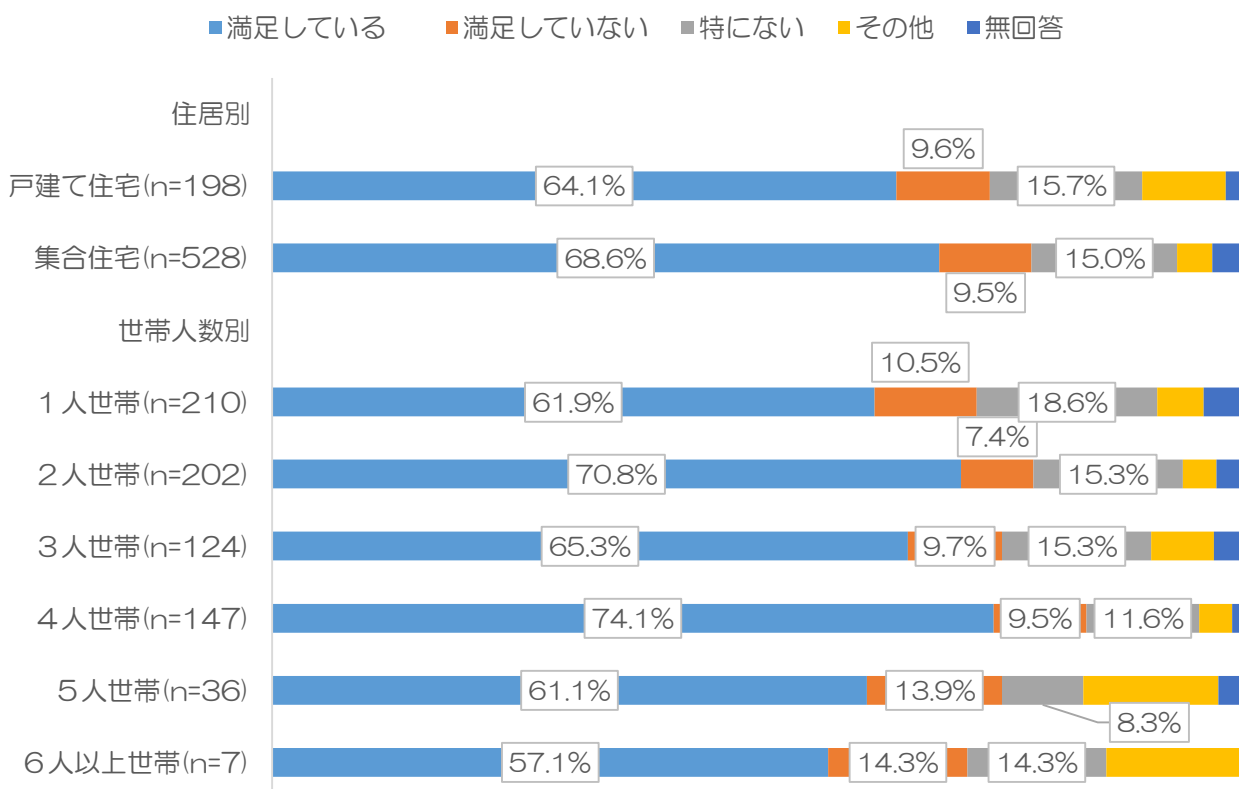
年代別では、『満足している』がすべての年代で6割を超え、特に20～29歳（71.2%）、70歳以上（72.6%）で7割を超えています。『満足していない』は、50～59歳では『個人情報漏洩の不安が増えたから』が31.0%を占めています。



### 問5【住居別・世帯人数別】

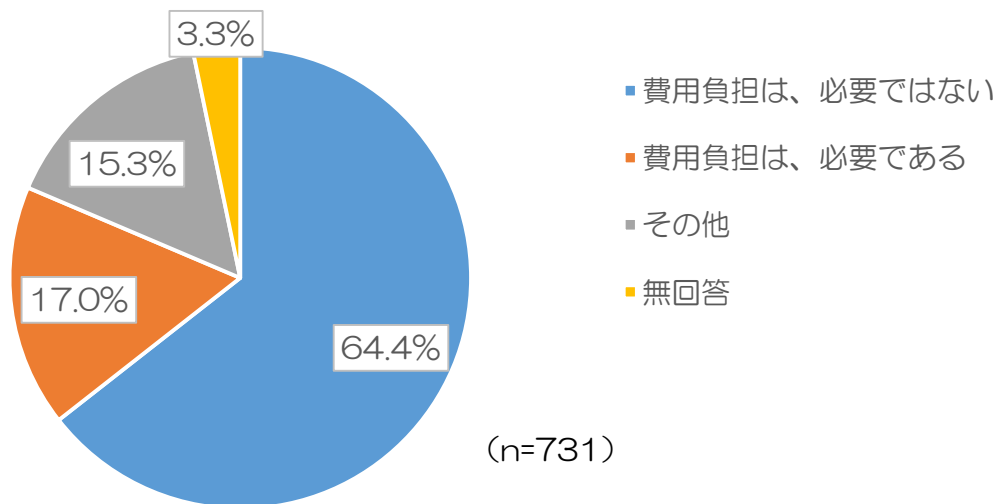
住居別で見ると、『満足している』は、戸建て住宅（64.1%）と集合住宅（68.6%）のどちらも6割を超え、集合住宅では7割近い結果となっています。なお、『満足していない』は戸建て住宅（9.6%）、集合住宅（9.5%）となっています。

世帯人数別では、『満足している』が、2人世帯（70.8%）、4人世帯（74.1%）で高い割合となっています。また、『満足していない』は5人世帯（13.9%）、6人以上世帯（14.3%）の多人数の世帯で1割を超えています。



問6 現在、近隣市では、各家庭の出すごみ量に応じて、費用負担が発生している場合がありますが、そのことについてどのようにお考えですか。（1つだけ選んでください）

- 費用負担は、必要である
- 費用負担は、必要ではない
- その他



【全体】

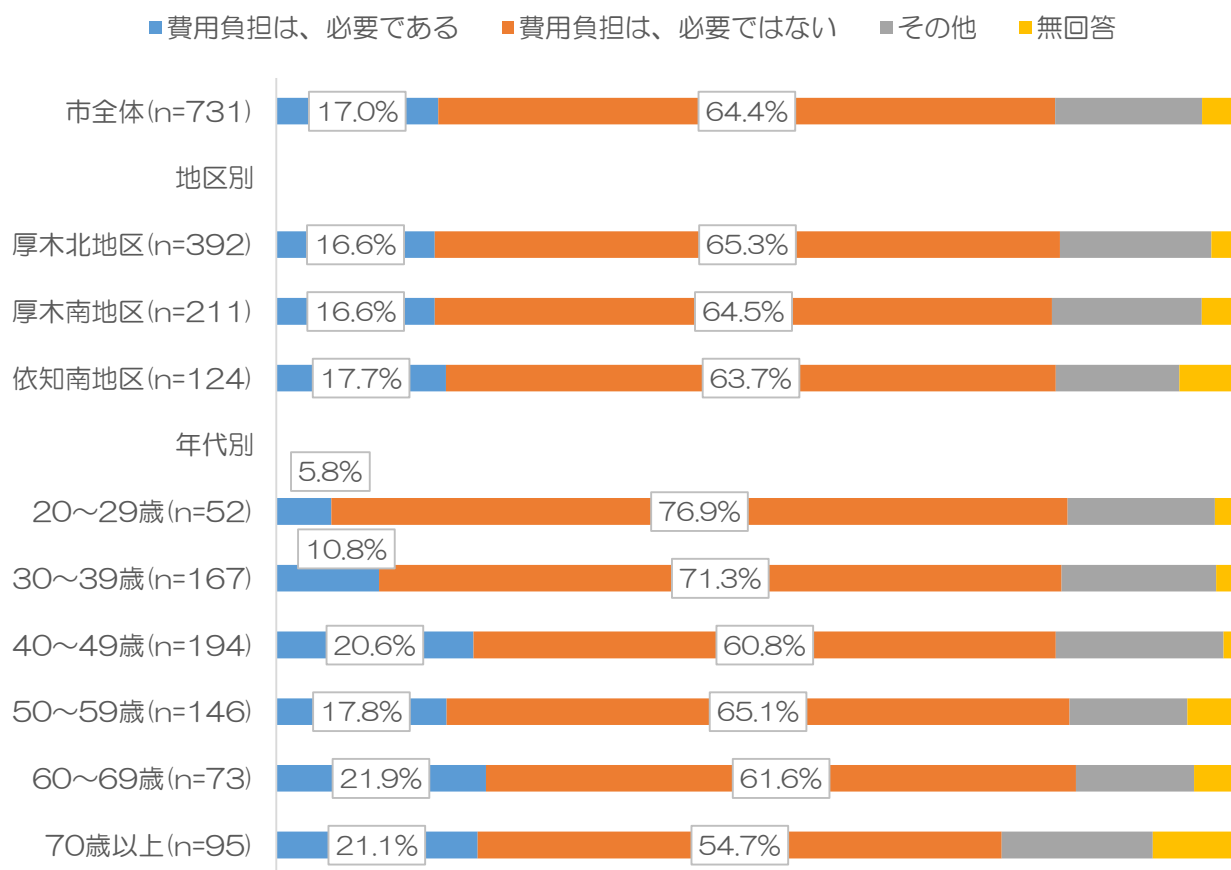
『費用負担は、必要ではない』（64.4%）が、『費用負担は、必要である』（17.0%）を大きく上回る結果となっています。6割を超える世帯が、応分の負担が必要ではないと考えていることが分かります。

## 問6【地区別・年代別】

地区別で見ると、厚木北地区、厚木南地区、依知南地区のどの地区においても、『費用負担は、必要ではない』が6割を超えており、地区による大きな差異は見られません。また、『費用負担は、必要である』は2割を下回っています。

年代別では、『費用負担は、必要ではない』が20～29歳(76.9%)及び30～39歳(71.3%)で7割を超えています。また、70歳以上(54.7%)では6割を下回っています。

また、『費用負担は、必要である』は40～49歳(20.6%)、60～69歳(21.9%)及び70歳以上(21.1%)で2割を超えています。



## 問6【住居別・世帯人数別】

住居別で見ると、戸建て住宅では『費用負担は、必要ではない』(68.7%)が集合住宅(63.4%)を5ポイントほど上回っているのに対し、『費用負担は、必要である』は戸建て住宅(13.1%)では集合住宅(18.0%)を5ポイントほど下回っています。

世帯人数別では、『費用負担は、必要ではない』が、3人世帯(72.6%)、6人以上世帯(71.4%)、で7割を超え、1人世帯、2人世帯及び4人世帯で6割を超えています。また、『費用負担は、必要である』が5人世帯(22.2%)で2割を超えています。

